

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方 —「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考える—

開催地： 大分

グループ： 6班

2024.7.27

# 生成AIとの生き方

---

# 結論

**生成AIをアシスタントとして使いたい！**

0～10を聞くのではなく、

1～3を聞き、ヒントを得たらいいのでは？

# 具体例

- もともとある文章の添削
- 英会話の練習相手
- 説明の簡略化
- アイディアの相談

すでにある情報のブラッシュアップを手  
伝ってもらおう！

# メリット

## 生成AIをアシスタントとして使うと...

- ・今までいいアイデアが出なかった時にかかっていた時間の短縮
- ・新しいアイデアの参考(引き出し)にできる
- ・自分が間違っていた部分に気づくことができる

# デメリット

その反面...

- ・自分らしくなくなってしまう危険性
- ・現状の使い方(全て任せる自動生成)に慣れてしまっている人が不便に感じる。

---

# まとめ

生成AIは全てが正しい訳ではない。  
だからこそ生成AIを使う時は、全部を考えてもらわず  
ヒントを貰う使い方が良い。

生成AIと人々が共存していける世の中を目指したい！